



▲短冊と花の種をつけた風船を飛ばす参加者

短冊に願いを込めて

交通安全キャンペーン「七夕作戦」

7月7日、五和町の手野保育所（全園児28人）で交通安全キャンペーン「七夕作戦」が開催されました。七夕の時期に合わせて毎年行っているもので、今年で33回目。天草地区交通安全協会の講習員による寸劇などを交えた親子交通教室や、参加者が交通安全を願って書いた短冊と花の種をつけた風船飛ばしが行われました。同保育所には後日、「風船を見つけて感激しました」という喜びの電話があったとのこと。

花いっぱい明るい地域づくり

花づくり教室

6月29日、新和町大宮地で「花づくり教室」が行われ、地域住民60人が参加しました。市と同地区振興会が、天草花咲プロジェクト（花いっぱい運動）事業の一環として、地元の人に花の植え方・育て方などを学んでもらうことを目的に実施。同地区下釜学習センターで土づくりや花の植え方などの講話があった後、大宮地バス停横にある花壇にトレニアやマツバボタンなどの花400本を植栽しました。参加者は植え終えた花壇を見て、「花は地域も心も明るくしてくれますね」とうれしそうに話していました。



▲花を植える参加者



▲海に向かって安全を祈願する長田さん

シーズン中の海の安全を願って

白鶴浜海水浴場で海開き

天草町高浜の白鶴浜海水浴場で6月29日、「海開き」が行われました。関係者や地域住民など10人が、隣接する海の家でシーズン中の安全を願って神事を実施。その後、海水浴客も参加して、心肺蘇生や消火訓練を行いました。同海水浴場を管理する長田眞さんは、「白鶴浜は、白い砂浜が広がる県内でも有数の海水浴場です。ぜひ、ご家族やカップルでお越しください」と話していました。

自分だけのオリジナル陶器を作る

陶芸教室

7月2日、倉岳地区公民館主催の「陶芸教室」が宮田地区コミュニティセンターで行われました。出前講座の一環として実施しているもので、地域住民10人が参加。参加者は、倉岳陶芸愛好会の平井利和代表の指導を受けながら、手で粘土をこねて形を作る“手びねり”で思い通りの形の陶器作りに挑戦。「難しいけど楽しい」と話しながら、熱心に取り組んでいました。同講座は7・8月にかけて8回実施され、2種類のオリジナル陶器を作るとのことです。



▲楽しそうに取り組む受講生



▲熱戦を繰り広げる参加者

スポーツで親ぼくを深める

かわうらエンジョイミニバレーボール大会

今年で20回を迎える「かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が6月15日、河浦中央体育館で行われました。河浦まちづくり協議会が、地域住民の親ぼくを深めてもらおうと毎年開催しているもので、全5種目に51チーム・340人の地域住民が参加。各チームは熱戦を展開し、サーブで点が入ったり、力強いアタックが決まったりすると観客から歓声があがっていました。

心をストレッチしよう

社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化大会

7月12日、「第64回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化大会」が天草市民センターホールで開かれ、450人が来場しました。同運動を啓発する作文・標語の入賞者の表彰、公民館や学校の取り組みの事例発表のほか、声優・歌手の佐久間レイさんが「みんな笑顔の講演会～命を輝かせる心のストレッチ～」と題して講演。人との出会いや自分の子どもと接する中で感じたこと、自分らしく生きることの大切さなどを歌や語りを交えながら話され、会場は終始和やかな雰囲気包まれていました。



▲「何回失敗してもやり直せる。もう一回がんばってみようと思うことが大切」と話す佐久間さん